



第1回PTAふれあい講座

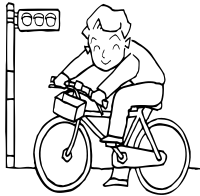


5月31日 図書室 家庭教育部



池田尊之教頭先生

自転車で
通勤して
います。



*高校時代は柔道部に所属。
*好きな言葉は
「ピンチはチャンス！」

『わたしの出会ったこどもたち、おとなたち』というテーマで、56名の保護者参加のもと、今年度より本校に赴任された池田尊之教頭先生のお話の会が開かれました。

教頭先生のお母様や、今まで出会った人たち、児童との関わりの中で、印象に残った言葉を中心に、それにまつわるエピソードを、ユーモアを交えて話してくださいました。途中、教頭先生のダンスも飛び出し、会場は大爆笑！ 笑いの中にも感動と学びのある内容でした。参加者からは、

「とにかく楽しかったです。もっと色々お話を聞いてみたいです。」
「何気ない一言の大切さを知りました。怒るだけでは駄目なのだと思います。」

「自分の小学生時代を懐かしく思い出しました。」
「教頭先生の意外な一面を拝見することができました。」
などの声が聞かれました。

教頭先生の温かく楽しいお人柄に触れ、終始笑いに包まれた楽しい講座でした。



ごめんなさいで
許してくれた。



ストップマーク塗布

5月27日 校区内各所
社会教育部地区事業班



朝8時30分出発！ ペンキなどの重い荷物を持って、校区内を移動します。まず、マークをほうきで掃き、雑巾で拭き、そしてペンキを塗って…、真新しいストップマークのできあがり！ この作業をPTAが行っていることを、皆さんはご存じでしたか？ 毎年、暑い中、大変な作業です。ペンキもなかなか思うようには塗れないそうです…。また、この作業は危険を伴うこともあり、車が、作業をしている部員さんの傍らスレスレを通過していき、このような時、通学路の危険箇所を改めて認識するそうです。ストップマークは、普段子どもたちが走り回り、無意識に飛び出してしまいそうな場所に多くあります。



今回、白く鮮やかに塗り直されたマークの存在は、子どもたちの飛び出し防止につながると同時に、周辺を運転するドライバーへも注意を促してくれることでしょう。今年の作業には2人のお父さんも参加!! 今ブームの☆イクメン効果☆でしょうか♡

社会教育部 地区事業班の方々、子どもたちが安心して通学できる環境づくりをしていただき、ありがとうございました。皆さん、ストップマークがあるところでは **ストップ** して安全確認しましょうね！



親子親睦会 & 茶話会

学校教育部

～6月10・11・12・13・14・28日 体育館～

6月は、各学年で親子親睦会が行われました。今回は、6月10日に行われた5年生の親子親睦会に取材に入りました。5年生は、男子と女子児童のチームに分かれ、親子混合でクラス対抗ドッジビー大会(柔らかいフリスビーを使ったドッジボール)を行いました。どのクラスも親子共に白熱し、体育館は熱気であふれていました。「うちの人と一緒にドッジビーができて楽しかった!(児童)」「子どもたちのやる気に満ちた顔を見ることができて良かった。(保護者)」という言葉に表れるように、親子一緒に体を動かせる機会はいいですね♪



また、親睦会の後には、クラスごとに輪になり、保護者の茶話会が開かれました。これは、今年度初めての試みでしたが、汗を流した後に冷たい飲み物を頂きながら、親同士交流の時間を持つことができました。参加者からは「茶話会だと、一度帰って着替える必要もなく、そのまま気軽に参加でき、ざっくばらんな雰囲気ですごく話ができ良かった。」「遠くに座った人ともお話ができたなら、もっと良かったな…」という感想が聞かれました。

この会のためにお世話をしてくださった学校教育部の皆さんと、連日体育館を提供してくださった学校側のご協力に、感謝したいです。参加者の皆さんもお疲れさまでした。

給食試食会

6月12日 家庭科室 学校教育部



栄養教諭 来嶋理恵先生

1年生の保護者を対象にした給食試食会に、約40名が参加しました。栄養教諭の来嶋先生が給食について分かりやすく説明して下さった後、子どもたちと同じ運搬ルール・配膳・片付けを行い、給食を体験しました。

道後小学校の給食は桑原調理場で作られ、今年4月からは民間の委託業者(東洋食品)が給食業務を行っています。食材はなるべく県内産を使用し、地元のものを多く取り入れており、毎回20種類近い食材を使用しています。



Menu

- 梅ごはん
- かきたま汁
- 切り干し大根のうま煮
- 牛乳
- 伊予柑ゼリー



※地産地消にこだわっています。

参加者の感想

～アンケートとインタビューから～

- ・なかなか給食を食べる機会はないので、貴重な体験だった。
- ・いつも子どもが食べているものを自分も食べてみて、給食に対する理解がより深まった。子どもと給食について話してみようと思った。
- ・給食がどのように作られているか分かり、良かった。
- ・子どもたちに配慮した献立だけでなく、食材選びから調理の過程に大変な努力を感じ、感謝の気持ちでいっぱいになった。実際に子どもたちの配膳の様子を見たり、一緒に食べることができたらいいな…と思った。
- ・お昼の校内放送で給食メニューを紹介し、献立や食材の意味・由来などが説明されており、知識や季節感も深められ、良い食育だと思った。
- ・薄味で素材の味が感じられておいしかった。子どもも「給食がおいしい」と喜んで食べている。子どもたちの記憶に残る楽しい給食を願っている。

☆給食Q&A☆

- Q1. 給食が民間委託になった利点はありますか?
 A1. 給食受け渡し室に配膳員が配置され、給食の受け渡し介助をすることで学校の負担が少なくなりました。また、



2学期からはアレルギー対応(除去食)が拡充される予定です。アレルギー除去食は、個別の容器に入れて届き、受け渡しは配膳員と学級担任が直接手渡しで行います。そのままの容器でも通常食器に入れ替えても食べることもできます。

- Q2. 食器について教えてください。
 A2. PEN樹脂という素材の食器を使っています。添加物を使用しておらず、水や油に溶け出す物質もなく、安心して使える安全な食器です。
 Q3. だしは何を使っていますか?
 A3. 主に煮干しです。大きなだし袋に瀬戸内海産の煮干しを入れて、ゆっくりいいねいにだしをとります。煮干し以外にも昆布やかつお節なども使用しています。



学校教育部よりその他の活動報告

●読み聞かせボランティアの説明会●

5月27日 図書室

学校図書館支援員の池田茂先生より、専門的な分野から、物語に動きを加える手法まで幅広く説明していただきました。また、『英語』での読み聞かせや、今年から参加していただけることになった『手話』での読み聞かせには、新しい発見と感動がたくさんありました。子どもたちみんなに早くこの感動を味わってもらいたいです。

